



特 許 願

優先権主張
アメリカ合衆国特許第 38 号 (1973 年 11 月 2 日)

特許庁長官殿

1 発明の名称

2 特許請求の範囲に記載された発明の要旨

3 発明者

4 特許出願人

5 代理人

6 添付書類の目録

1 委任状及び書状	各 1 通
2 明細書	1 通
3 図面	1 通
4 願書副本	1 通

明 細 書

1 発明の名称 動力発生方法及びそのパルス・キャパシター放電電気エンジン

2 特許請求の範囲

- (1) 電磁石を励磁した時に反撥するように配設した各々の鉄心と並列関係に同様の電磁石を配置すること、比較的高電位にキャパシターを充電することと、上記の比較的高電位をブレーク・ダウンさせるためにスパーク・ギャップを渡り上記電磁石にて同時に上記キャパシターを放電することより成り、上記同様の電磁石をかなりの力で互いに反撥させるようにする動力発生方法。
- (2) ハウジングと：ステーターを形成する前記ハウジング内に均等配設した電磁石電装部と；上記ハウジング内およびハウジング内でジャーナルされ回転する軸上に取付けられ、かつ上記ステーター電磁石と同様で、かつ上記ステーター電装部内の電磁石と同数の整数の均等に隔設した電磁石電装部を自身に取付け

① 日本国特許庁

公開特許公報

① 特開昭 50-74712

④ 公開日 昭 50.(1975) 6.19

② 特願昭 49-127019

② 出願日 昭 49.(1974) 11.2

審査請求 有 (全 18 頁)

庁内整理番号

6658 51

⑤ 日本分類

55 A42

⑥ Int.Cl.

H02K 33/00

てあるようなローター・ケージ：単方向電流がコイルに流れ、その各々の鉄心が特定の電磁極性に磁化され、ステーターの選択した鉄心と並列になるローター鉄心面が同極性に磁化された時に、並列した鉄心が互に反撥し、上記ステーターとローターのコイルの各々の 1 リード線が共通端に結線され、他のリード線がギャップ端子に結線され、上記ローターコイルのギャップ端子が上記ローター上にあり、かつ上記ローター電磁石の位置とマッチし、そのコイル数と同数であり、上記ステーターのギャップ端子が上記ステーター上のコイル数と同数であり、かつ上記ハウジング内の上記ステーター電磁石の位置と均等にマッチするように上記ステーターの所に配設してあるように、特定の形態に、かつコイルに巻線してある磁化鉄心を持つ上記ステーターとローターの各電磁石；上記ステーター電磁石の共通端子と共通の端子を各々が持ち、かつそこで連結した電磁石のギャップ端子と隣接し